

水泳授業の民間委託の現状と課題 —インタビュー調査による事例的検討—

浜上洋平(大阪体育大学)



大阪体育大学

OSAKA UNIVERSITY OF HEALTH AND SPORT SCIENCES



発表の流れ

1. 研究の背景
2. 研究の目的
3. 研究方法（インタビューの方法・対象）
4. インタビューの結果
5. まとめ（問題提起）
6. 今後の課題

対象校のプール



研究の背景

〔水泳授業あるいは学校のプールに潜む課題〕

- プールの老朽化
- 安全確保のための人員配置
- 教員の負担感
- 限定された使用可能期間（6～9月）
- 天候の影響 など

参照:「変わる学校プール、減り続ける公営プール」(熊谷哲, 2022)

https://www.ssf.or.jp/ssf_eyes/sport_topics/20221012.html (2023.5.19閲覧)

⇒ 水泳授業の民間委託が広まりつつある。

研究の目的

- 水泳授業の民間委託の現状と課題を明らかにすること

データ収集と対象者

- 下記対象者2名に半構造化インタビューを実施
 - ...約90分間
 - ...質問項目は次スライド参照

〔対象者〕

- ① 広島県内Sスイミングスクール代表取締役Aさん
(インタビュー日:2022年7月17日)
- ② 広島県内U中学校保健体育科教諭K先生
(インタビュー日:2022年10月28日)

インタビューの質問項目

	代表取締役N	保体教諭K
①	民間委託授業を受け入れた理由は？	民間委託授業に至った経緯は？
②	準備を始めた時期・授業実施時期は？	
③	民間委託授業を行ってみてどう感じた？	
④	学校の先生方の反応は？	保体教諭の反応は？
⑤	生徒の反応は？	
⑥	保護者の反応は？	評価はどのように？
⑦	民間委託のメリットとデメリットは？	
⑧	民間委託授業全体に対しての所感は？	

⇒ 両者に共通する内容、メリット、デメリットを整理

インタビューの結果

民間委託事業を受け入れた理由・経緯

〔代表取締役N〕

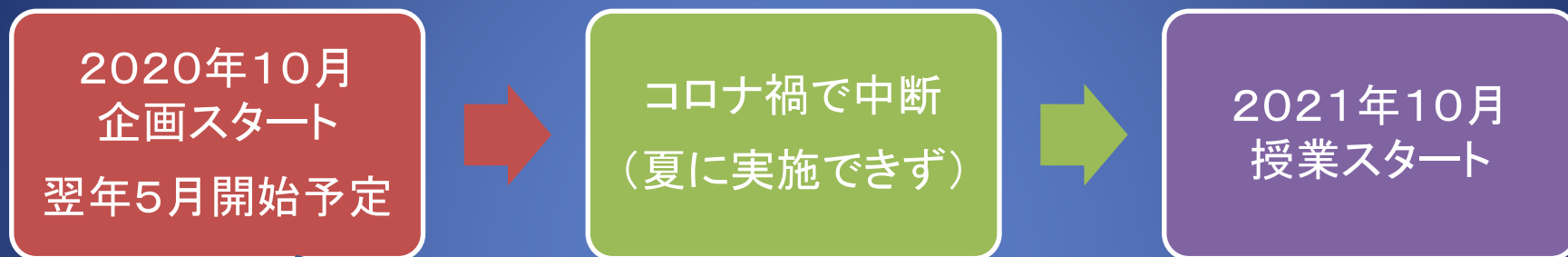
- 新規会員の獲得につながるという期待
- (今後、民間委託が増えるだろうことを踏まえ、)前例が少なかったので先駆けになりたい

〔保体教諭K〕

- 安全性が高い
- 環境・衛生面が充実
- オールシーズン可能
- 天候に左右されない
- 専門的な指導が可能となる

スイミングスクール側から
教育委員会に企画提案

準備を始めた時期・実施時期



当初は教育委員会から営利目的ではないかと指摘されたが、「直接的な営利目的ではないこと」「子どもへの水難事故防止教育の重要性」などを説明し、民間委託実施に舵が切られた。その背景には「中学校のプール老朽化」の問題もあった。同地域の小学校はすでにプールの改修が進められていたため、民間委託は見送られることとなった。

民間委託事業を行ってみてどう感じた？

〔代表取締役N〕

- スイミングスクールの指導方法を踏襲し、泳力別の班別学習（4班）を実施した結果、子どもたち・教員から高い評価を得られた。一方で、授業回数が限定されるやりにくさも感じた。

〔保体教諭K〕

- 専門的なインストラクターによる泳力別の指導により、各々の子どもが主体的に課題解決していく様子が見られた。
- 安全面の確保が行いやすかった。

先生方の反応／保体教諭（同僚）の反応

〔代表取締役N〕

- 高い評価を得られた。
- 教育委員会、保体教諭から「指導方法を教えてほしい」と打診されたが、時間の確保が難しく実施できないまま進めることになってしまった。

〔保体教諭K〕

- 保体教諭（同僚）のからも肯定的な意見があがった。
- 命に直結する自己保全能力向上を意図する指導は保体教諭だけでは難しいと感じた。

生徒の反応

〔代表取締役N〕

- すごく楽しそうに授業に取り組んでくれた。
- 初回授業を見学した生徒も次回参加し「楽しかった」と笑顔で言ってくれた。
- 質の高い指導を受けてられて満足そうな様子だった。

〔保体教諭K〕

- 学校の外の人と関われることも非常に有意義であるように感じられた(社交性の向上など)。
- 泳力が上がることで自己肯定感も向上しているように見受けられた。

保護者の反応／評価方法

〔代表取締役N〕

- 専門的な知識・スキルを有するインストラクターに指導してもらえることはありがたい。
- 冬季の移動は寒いのでドライヤーの準備などの相談があった。→難しい

〔保体教諭K〕

- 評価をどのように行っていくかが大きな課題
...対策として、スイミングスクールと学校の連携、技能テストの実施、ワークシートの活用などを検討していくべき

民間委託事業のメリット

	メリットの内容
①	安全管理がしやすい
②	学習環境(衛生面含む)がよい
③	専門的な知識・指導スキルの高いインストラクターの指導を受けられる
④	泳力別の細やかな指導が可能
⑤	生徒達のモチベーションが上がる
⑥	生徒達の主体的な学びにつながる
⑦	オールシーズン実施可能
⑧	天候に左右されない
⑨	(スイミングスクールの新規会員獲得につながる)

民間委託事業のデメリット

	デメリットの内容
①	学校とスイミングスクールの距離・移動時間
②	活動時間の確保
③	バス送迎の手配
④	地域間の不公平さ(スイミングスクールが近くにない地域も少なくない)
⑤	途中参加や遅刻してきた生徒に対しての対応
⑥	コスト
⑦	評価方法
⑧	学習指導要領に則った指導内容の精査

民間委託事業全体に対しての所感

〔代表取締役N〕

- 生涯スポーツ、水難事故防止の観点から水泳授業は民間委託してでも無くすべきではない
- お金の問題の調整は必須
- 一般のレッスンは圧迫されてしまう

〔保体教諭K〕

- (水泳の専門性の観点から)小学校こそ民間委託の効果が高いのでは？
- 施設、専門的な指導の両面からみても、水泳授業の民間委託は推進されるべきでは？

まとめ(問題提起)

〔水泳授業の民間委託について〕

- 生徒、教員から肯定的に受け入れられている
- スイミングスクール側のメリット(新規会員の獲得につながるなど)も考慮すべき
- 移動時間や手段など調整すべき事項が多い
- インストラクターであれば専門的な指導は展開できるが、学習指導要領に則った“体育の授業”として実施できるか？
- 費用等の問題の解決は必須

本調査の限界

- 下記を対象にした追加調査を実施し、より多角的な視点から“水泳授業の民間委託”の在り方について検討すべき
 1. 教育委員会等の教育行政
 2. 学校体育、水泳授業等に関する有識者

みなさんはどうお考えでしょうか？